

ニュージーランドと学校制度の違い

橋本 易子

倉敷とクライストチャーチの学生が交流するのに、8月の夏休みは南半球では冬に当たり、夏休みではないのでバディと通学体験できるという利点がある。以前、10月にやってきた学生は、学期の間の休みで新学期は2月に始まると言っていた。また、日本では4月の入学式はランドセルや学習机を購入する一大イベントであるのに対して、ニュージーランドでは入学式自体がないと聞いた。その他にも両国の間には様々な違いがあるのではないだろうか。

そこで、この機会に日本とニュージーランドの学校制度の違いを調べることにした。

まず、学校の種類と学年の呼び方を対比して表にまとめてみた。

日本では、6・3・3・制といわれる通り、一部を除いて概ね小学校6年、中学校3年、高等学校3年であるのに対し、ニュージーランドではプライマリースクールから通しの学年で表し、日本の中学・高校のように2年、5年に分かれたものや、中高一貫の形でハイスクールまたはカレッジと呼ばれるものがある。義務教育の終わりは学校の卒業時期とは異なるところが興味深い。

日 本					ニュージーランド				
			学年	年齢	学年				
		中高一貫	高3	17	year13	secondary school	high school, college		
			高2	16	year12				
			高1	15	year 11				
義務教育	小中一貫		中3	14	year 10			義務教育	
			中2	13	year 9				
			中1	12	year 8	intermediate			
			小6	11	year 7				
			小5	10	year 6	primary school			
			小4	9	year 5				
			小3	8	year 4				
			小2	7	year 3				
			小1	6	year 2				
	保育園または幼稚園など				5	year 1			
4					kindergarten, preschool, nursery など				
3									
				0					

その他、日本との主な違いを比較してみる

小 学 校 入 学	
満6歳を過ぎた4月、一斉に入学式	5歳の誕生日の翌日から入学許可、個人で決める
義 務 教 育 期 間	
小学1年生から中学3年生まで9年間	year2 からyear11 まで 10年間
学 期	
新学年は春休み明け 4月に始まる 1学期：4月6日から7月20日 2学期：9月1日から12月24日 3学期：1月8日から翌年3月26日 夏休み約40日、冬休み14日、春休み10日	新学年は夏休み明け(欧米と同じ) 1月末から 1学期：1月末から4月上旬 2学期：5月初旬から7月上旬 3学期：7月下旬から9月下旬 4学期：10月中旬から12月中旬 どの学期も月曜から始まり金曜で終わる 学期の間に2週間の休みと学年末に6週間の休み
ク ラ ス	
1年ごと固定クラス	履修科目選択のためクラスで行動することは少ない
時 間 割	
クラスで同じ時間割 午前中4コマ、給食（弁当）をはさんで 2コマ水曜日は1コマのところが多い	選択科目によって各自の時間割 午前中2コマの後モーニングティーの習慣 更に2コマの後 昼休みを挟んで1または2コマ
授 業	
クラス全員同じ授業	習熟度によって学年を超えて選択
教科書を使って共通の進度	先生が選んだ または手作りの教材を使う
教 室	
ホームルームクラスのロッカーに荷物を置き 自分のクラスで授業を受ける 特別教室以外は移動することがない	ロッカーームのロッカーに荷物を置き 科目ごとの教室へ生徒が毎時間移動する 理系・文系・芸術など系統ごとに別棟になっている
部 活 動	
文化部・体育部とも朝や放課後に練習 土日も練習や試合・発表会などがある 地域のクラブチームで活動する人もいる	学校のチームは主に水曜日の放課後 土曜日の午前中に練習することもある 地域のクラブチームで放課後も練習する人もいる
大 学 入 試	

<p>高校卒業または高卒認定試験合格後 センター試験、個別大学の入試を受ける</p>	<p>year11からNCEAのLevel1～3の資格・単位を取得 大学個別の入学試験はなく、NCEAレベルで決まる</p>
<p>NCEA---National Cartigation of Educational Achievement</p>	
<p>高校卒業後の進学先</p>	
<p>4年制大学 短期大学 専門学校など</p>	<p>University(総合大学) Polytechnich(技術専門学校) College of Education(教員養成課程)など</p>